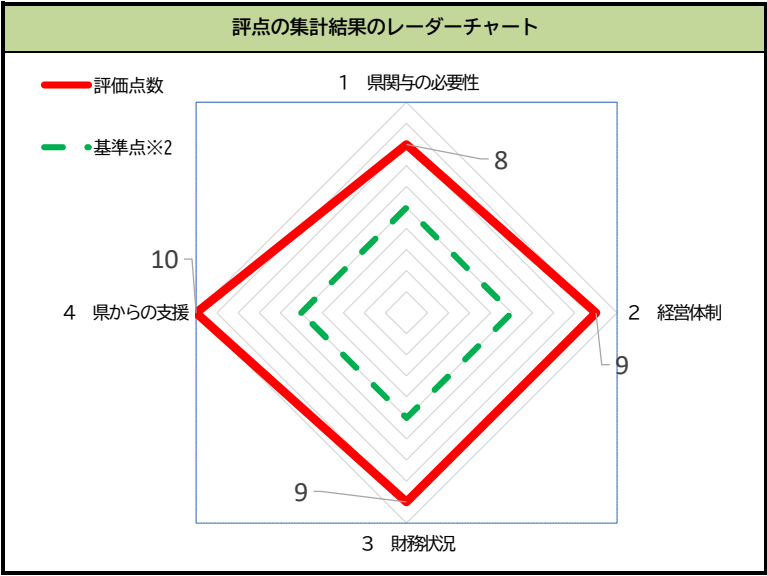


公社等外郭団体の経営状況等の評価に係る評価シート
【公益法人用】

団体名称	千葉園芸プラスチック加工（株）	所管所属名称	農林水産部生産振興課	評価実施年度	令和6年度	※1【説明】は評価をつけた側が理由等を記入し、【コメント】は評価をつけた側の採点結果及び説明を受けて評価をつけていない側が所見を記入しています。	
評価の視点	評価項目	評価配点	調査票該当番号	団体による評価		所管所属による評価	
				評価	説明又はコメント※1	評価	説明又はコメント※1
1 県関与の必要性	① 当初の目的を踏まえつつ現在において必要性を問い直してもなお、出資又は出捐関係を維持する意義	1点：意義が大きい。 0点：意義が大きいとは言えない。 ▲1点：意義がない又は乏しい。	2～4		【コメント】 持続可能な再生産や環境保護に対する取り組みは産業界にとって重要な行動規範であるが、農業者は一般に零細であり圃場も分散しているため、廃棄物の処分にあたっては行政による適切な支援が求められている。本県では、県・市町村・農業団体等の協力による一元的な収集処理体制が構築されており、当社と連携した農業用廃プラスチックの適正処分とリサイクルが行われている。 現在の収集処理体制を今後も維持し、適正処分に当社が積極的に関与することが農業振興と農業者の負担軽減に貢献すると考える。	1	【説明】 本県の農業用廃プラスチック処分においては、当社と県・市町村・農業団体等による一体的な収集処理体制をもって、当社を中核とした体制は有効に機能し、適切な処理がされているところであり、廃プラスチックを適正に処分するために、引き続き行政の関与は重要である。また、農業用廃プラスチックの処分可能業者への選択肢が増えてきている中で、価格を抑えつつ継続的な処理が可能な体制を模索する必要がある。
	② 類似団体や民間団体などの他の担い手が存在している場合においてもなお、出資又は出捐関係を維持する意義	1点：意義が大きい又は類似団体等は存在しない。 0点：意義が大きいとは言えない。 ▲1点：意義がない又は乏しい。	2～4			0	
	③ 県が自ら施策を実施することその他の事業手法と費用対効果を比較して、出資又は出捐関係を維持する意義	1点：意義が大きい。 0点：意義が大きいとは言えない。 ▲1点：意義がない又は乏しい。	2～4			0	
	④ 将来見通しを踏まえた、現状の県関与の必要かつ妥当な水準・方法	1点：水準・方法の維持や拡大が適当である。 0点：水準・方法の縮小や拡大、見直しを検討中である。 ▲1点：水準・方法の廃止検討や縮小、変更を行っている。	全体			1	
	⑤ 県が定めた関与方針（策定済みであれば経営健全化方針を含む）に沿った取組	1点：概ね順調に進捗している。 0点：進捗していない部分がある。 ▲1点：主要な部分が進捗していない。	5 5－2			1	
2 経営体制	① 「理事会等の開催・運営」や「財務諸表等の作成・公表・備置」の法令等に基づいた適正な実施	1点：義務を超えて行っている。 0点：義務の範囲内で行っている。 ▲1点：義務を守れていない部分がある。	7	1	【説明】 取締役6名のうち3名が公的身分の者（市長、町長、県職員各1名）であり、このことは当社事業の非営利性と公的性格を表している。このような経営体制だからこそ、農業者や行政の信頼を得て、農業用廃プラスチックが安定的かつ適正に処分されている。 【コメント】 農業用廃プラスチックにおける排出量の減少に伴い、取扱数量等について目標を達成していないが、本県の農業用廃プラスチックを安定かつ適正に処分受入するとともに、処分委託価格の改善や再生品販売高を向上する等、経営体制の安定化に向け取り組んでいる。		【コメント】 経営体制については適正に行われており、これまで農業用廃プラスチックの安定的かつ適正な処分に寄与してきたと認識している。 農業用廃プラスチックについては、排出量の減少に伴い回収量が減少傾向にある。
	② 「監査」の法令等に基づいた適正な実施	1点：義務を超えて又は外部的な監査を行っている。 0点：義務の範囲内で行っている。 ▲1点：義務を守れていない部分がある。	7	1			
	③ 役員（監事・監査役を除く）への民間人材等（民間人材及びプロパー）の起用	1点：経営責任者に民間人材等を起用している。 0点：経営責任者ではないが民間人材等を起用している。 ▲1点：民間人材等は起用していない。	8	1			
	④ 人管理体制の将来見通し	1点：課題は見当たらない。 0点：将来的な課題がある。 ▲1点：5年以内に対応すべき課題がある。	8	1			
	⑤ 中長期的な経営計画や達成目標となる指標の達成状況	1点：概ね達成できている。 0点：達成できていない部分がある。 ▲1点：策定していない又は主要な部分が未達成である。	9	0			
3 財務状況	① 債務超過の状況	1点：直近3年間はいずれも債務超過ではない。 0点：直近3年間に債務超過の年度があった。 ▲1点：直近の決算は債務超過である。	10	1	【説明】 平成29年末の中国の廃プラ輸入停止により、国内の廃プラ処分価格が大幅に高騰したため、令和元年度は売上原価の増加により赤字となった。令和2年度に受入価格の改定を行ったため、その後は4期連続で黒字を計上している。国際情勢や為替相場の変動、施設の老朽化による売上原価（施設修繕費等）の上昇リスクはあるが、安易な農業者への価格転嫁に頼らない収支対策が必要になっている。		【コメント】 令和2年度に処理料金の値上げを行ったことで黒字転換したが、今後これ以上の値上げは困難であると予想される。こうした中で、売上原価の上昇リスクを抑えるため、コストや再生品販売の改善等に専心して取り組んでいるものと認識している。
	② 収入全体の状況 【公益法人用の評価項目】	1点：事業継続に必要な収入は確保できている。 0点：将来的な課題がある。 ▲1点：5年以内に対応すべき課題がある。	12	1			
	③ 基本財産の状況 【公益法人用の評価項目】 ※繰越損益相当額がマイナスの場合、対前年度比で改善0点、同額又は悪化▲1点	1点：直近3年間はいずれも減少していない。 0点：直近3年間に減少した年度があった。 ▲1点：直近の決算は減少した。	10	1			
	④ 経営健全化の必要性	1点：経営健全化方針の策定要件に該当しない。 0点：要件に将来的に該当する可能性がある。 ▲1点：要件に該当する。	5－2	1			
	⑤ 財務状況の将来見通し ※経営健全化方針を策定している団体は、現時点の中長期的な収支予測比で、上回る1点、概ね予測どおり0点、下回る▲1点	1点：課題は見当たらない。 0点：将来的な課題がある。 ▲1点：5年以内に対応すべき課題がある。	全体	0			
4 県からの支援	① 県からの人的な支援の状況	1点：人的な支援は受けていない。 0点：人的な支援を受けている。 ▲1点：県が給与等を負担する人的な支援を受けている。	4、8	1	【説明】 土地・建物を県が所有・維持、収集処理体制を県および市町村の廃プラスチック対策協議会が運営、リサイクルセンターの操業を当社が行うという三位一体の方式が有効に機能しており、農業者における安心・安全な処分に貢献している。現在、施設の老朽化やリサイクル原料（農ビ）減少等の課題も生じているが、これらの課題の解決のためにも県からの支援は引き続き必要と考える。		【コメント】 県による直接的な財政的支援や人的な支援については行われていない。今後も、廃プラスチックが安定的、適切に処分されるよう、課題の解決に向けた検討が求められている。
	② 経営難を理由とした県からの借入金残高の状況	1点：0円又は対前年度決算比で減少が10%超である。 0点：対前年度決算比で増減が10%以内である。 ▲1点：対前年度決算比で増加が10%超である。	11	1			
	③ 経営難を理由とした県による損失補償等の状況	1点：0円又は対前年度決算比で減少が10%超である。 0点：対前年度決算比で増減が10%以内である。 ▲1点：対前年度決算比で増加が10%超である。	11	1			
	④ 運営費補助や赤字補填等を目的とした県からの財政的な支援の状況	1点：直近5年間には受けていない。 0点：直近5年間で受けた年度があった。 ▲1点：直近の決算で受けていた。	12	1			
	⑤ 経営難を理由とした県の追加出資又は出捐の状況	1点：直近5年間には受けていない。 0点：直近5年間で受けた年度があった。 ▲1点：直近の決算で受けていた。	12	1			

評価の集計結果等			
評価の視点	基準点※2	評価	評価点数
	①	②	①+②
1 県関与の必要性	5	3	8
2 経営体制	5	4	9
3 財務状況	5	4	9
4 県からの支援	5	5	10

※2「基準点」は、を超えていない場合は、その評価の視点は改善が望まれる状態を意味する点数で、団体の強み、弱みを把握して改善を図る際に、参考にしてください。



総務課による総括コメント
一部を除き経営状況等について問題がある事項は、特段見受けられない。関与方針に基づき団体と県で連携して経営改善を進め、引き続き、団体の設立目的や県が関与している意義に沿った事業展開を図っていただきたい。